



そして今では、古着だけでなく、年代物のバイクや自転車、50年以上前の石油ストーブや扇風機など、岩井さんが長年かけて国内外から厳選して仕入れた商品が、床から天井までぎっしりと埋め尽くされ、もちろんそれらはすべて今でも使用できるものばかり。「自分は、経営者というよりは、コレクターです（笑）この場所にお店を開いてみて、あらためて利根町が自然豊かで良いところだと実感しています。」

プロも買い付けに来る、こだわりの商品の数々

お店には人目を引くような看板もなく、これまで特に宣伝などもしていませんでしたが、岩井さんの評判や口コミでお店の存在を知った人が県内外から訪れます。中には飲食店の備品を探している



古い物の良さ・面白さを伝えて利根町を盛り上げたい

町の良さを実感し、大好きになった利根町を盛り上げたいと考えている岩井さん。自然の豊かさをテーマにしたイベントの開催や、カフェのオープンを目標に、芸術家やカメラマンの仲間たちとアイデアを練っています。また、古い物の良さや面白さを子どもたちに伝えていきたいという夢もあるそうです。「友人が子どもを連れて遊びに来た時に、蓄音機を見せてあげたらとても喜んでいました。昔は、周りの大人が古くて面白い物を教えてくれたので、今度は自分が伝えていこうと思います。」

最近ではコロナ禍による外出の自粛や在宅ワークの増加に伴い、少しでもおうち時間を快適に過ごせるようにと、家具やインテリア雑貨への関心が高まっているそうです。

アンティーク雑貨は、インテリアのアクセントだけでなく、見ているだけでその雑貨がどんな時代背景の中で使用されていたのかを想像することができ、歴史を感じるすることができます。

生活の中に、アンティークを取り入れて素敵なおうち時間を楽しんでみてはいかがでしょうか。岩井商会で素敵な出会いが見つかるかもしれません。

人やアンティーク雑貨のお店を経営しているプロの同業者も買い付けに来ます。もちろん、一般のお客さんも気軽に立ち寄ってほしいと岩井さんは言います。店に置いていないものでも希望の商品は見つかるまで探すそうです。「こういう古い物の中から欲しい物が見つかる時というのは本当にタイミングが合った時だけ。気軽に何度でも立ち寄って、自分が本当に欲しい物を欲しい時に買ってもらいたいです。」

店内で特に目を惹いたのは、レトロで可愛いデザインの石油ストーブ。古い型のアラジンなどが数えきれないほど置かれていきます。古い物を買って隅々まで磨き上げ、修理をし、お客さんに販売した後も定期的にメンテナンスを行います。こうした丁寧な作業を繰り返す事で、50年以上前のストーブがインテリアとして置かれるだけでなく、一生ものになっていくそうです。



材質に何が使われているかという事も仕入れのポイントになるそう



今まで何百台と見てきたストーブ。購入後のメンテナンスも引き受ける



机の上で涼しい風を送り続けていた扇風機も1950年代のもの